

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
1	公明党 代表質問 6番 村山 理恵 (質問方式) 一問一答	1. 市民に寄り添う 富田林	(1) 本市における流産・死産を経験した方（天使ママ）への心理社会的支援（産後ケア事業など）と、職員の研修について ①令和3年5月に発出された母子保健法の改正通知をふまえて、母子健康手帳交付時にどのような体制を取っているか ②当事者が抱える深い悲しみの現状や、支援の必要性と在り方を学ぶための職員研修会を実施することについて ③本市の産後ケア契約事業者に、天使ママ専門の「産後グリーフケア」ができる事業者が必要と考えるが、市の見解は？ (2) 孤独・孤立に至っても支援を求める声を上げやすい社会とするための「つながりサポーター」の養成について
		2. 市民の安全安心のために	(1) 避難行動要支援者のための個別避難計画策定を前へ進めるために ①本市の個別避難計画策定の対象者数と、策定の現状について ②個別避難計画策定を実施するに際し、協力いただける事業所など、人材の確保について ③吹田市が実施された「個別避難計画 作成勉強会」のような、当事者や、各団体へのアプローチが重要と考えるが、市の見解は？ (2) 地域防犯力の向上を求めて ①住宅用防犯機器（防犯カメラ、カメラ付きインターホン、センサーライト、窓ガラス用防犯フィルム、防犯性の高い鍵等）の購入・設置費の補助制度を創設してはどうか
		3. 市民のSDGsを前に進めるために	(1) 国産SAFの供給拡大の推進について ①本市の家庭用廃食油と事業用廃食油の回収の現状について ②独自回収ルートがない個人飲食店などにご協力を推進することについて ③廃食油がSAFとして生まれ変わり、活用される動画を市ウェブサイトに掲載し、市民の参加意識を啓発することについて
		4. 市民の就活応援と市内企業の人材確保に向けて	(1) 市内企業への就職を後押しするため、公式LINEを使った市独自の就職マッチングアプリの導入を求めて ①本市内の中小企業を含めた企業数や所在地の把握はどのように行われているのか？ ②本市内企業の人材確保を支援する取り組みについて ③新潟県小千谷市の公式アカウント「ぽっぷわーく」、「POP in おぢや」を活用した就職マッチングサービスのような市独自の就職マッチングアプリの導入を求めて
		5. 富田林駅から寺内町を中心とした周辺一帯のまちづくりについて	(1) 寺内町の現状と今後どのように寺内町を次世代へと継承していくのか (2) 富田林駅から寺内町とその周辺地域の再活性化を求めて（佐賀県有田町の事例も参考に）
		6. 本市小中学校教諭の事務負担の軽減を求めて（AI技術の活用など）	(1) これまでの卒業アルバムの作成方法と作業スケジュールについて (2) 卒業アルバム制作にAI技術の活用などを求めて
		7. 高齢者の運転免許自主返納支援について	(1) 本市の運転免許の自主返納に向けた取り組みについて (2) 特に交通不便地域では、運転免許の自主返納が進まない環境であると考えるが市の見解は？ (3) 市独自の運転免許自主返納支援として、タクシー利用券や交通系ICカードを活用した支援などを求めて

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		8. 子育てするなら 富田林	(1) 出産を控えたご家庭を応援する妊産婦タクシーチケットの導入を求 めて ①コロナ禍を挟んだ本市の出生数の推移について ②本市内と近隣市の産院の場所や数について ③妊産婦が自ら運転せずとも通院できるような支援をするために、大阪 狭山市や交野市で導入されている「妊産婦タクシーチケット」の導入 を求めて (2) 読書習慣の定着を目指した子育て支援の充実について ①未就園児に向けた、絵本貸出宅配便の創設を求めて ②移動図書館つつじ号の活動状況について ③つつじ号を使った配本と今後の読書支援の拡充について
2	とんだばや し未来 代表質問 10番 尾崎 哲哉 (質問方式) 一問一答	1. 地域のつながり を大切にする取り 組みについて	(1) こども支援の拠点として「つながりフードサポートセンター」（通称「つ なサポ」）を応援すること、更には持続可能な取り組みを位置づけること について (2) こども食堂の開設などの「居場所」づくり支援について (3) 地域総合拠点「みなよる」をこどもたちを含めた「居場所」として活用 する取り組みについて
2. 防災・災害対策 について	(1) 避難所のバリアフリー化の整備状況と今後の整備計画について (2) 本市ハザードマップの見直しについて（最新データの取り入れや要配慮 者に寄り添った見直しの予定について） (3) 災害時における福祉避難所の運営体制について (4) 老朽インフラの耐震性について		
3. 十分な機能を備 えた防災公園の設 置に向けて	(1) 本市地域防災計画に基づく都市公園等の整備に関する現状と、今後の整 備に向けた基本的な方針・考え方について (2) 防災機能を備えた公園が、地域住民の防災意識の向上や地域コミュニテ ィの活性化に資するという観点に対する市の見解について (3) 再整備が予定されている金剛中央公園をはじめ、一定の広さを有し、一 時避難場所に指定されている市内の公園において、国の補助制度を積極的 に活用しながら、防災機能の強化につながる設備の整備を進めることで、 実質的な「防災公園」の設置を図っていくことに対する市の考え方につい て		
4. 高齢者の孤立防 止および見守り支 援体制の強化につ いて	(1) 本市における一人暮らし高齢者や高齢者世帯の実態と現在の見守り体制 の把握状況について ①現在、どの程度の高齢者が一人暮らしや高齢者のみの世帯なのか、また どのような世帯が定期的な安否確認の対象となっているのか ②高齢者の孤立防止および見守り活動についてどのようなことをされてい るのか ③地域の福祉活動の担い手不足や高齢化に対する市の認識と対応はどうか ④IoT技術を活用した見守りシステムの導入について (2) 民間との連携による地域の新たな見守り手法の導入について ①「富田林市増進型地域福祉プラットフォーム」について (3) 地域拠点や多世代交流を活用した見守りの推進について ①地域のサロン活動などを拠点とした「居場所づくり」を見守りの視点から どう位置づけているか、またそのような活動への市の支援制度や助成のあ り方について、さらに居場所を持たない高齢者へのアプローチについて (4) 災害時の安否確認体制と平時の見守りとの連携について ①避難行動要支援者名簿の活用などを含め、災害時と平時の見守りをどのよ うに結びつけていくのか、について		

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
3	自民・笑顔 の会 18番 西川 宏 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市森林整備方針に伴う本市の森林・竹林整備のあり方全般について 2. サバーファームの再開に関する進捗と今後の運営方針について	(1) 放置された森林・竹林の把握や整備箇所について ①現在、本市内にどの程度の整備が必要な森林・竹林があるのか聞く ②竹林対策が必要な現地調査はどのように行われ、更新されているのか聞く (2) 重点整備エリアの選定や整備計画について（森林・竹林整備についての具体的な計画箇所） ①市としての重点整備エリアは具体的にどこが選定されているのか ②重点整備エリアの選定にあたって、評価項目や選定手順は設定されているのか（災害エリアとの関連） (3) 地元町会や山林・竹林所有者との連携状況について ①地元町会や土地所有者との協議・同意はどの様に進められているのか ②所有者不明の土地や連絡不能な場合の対応方針を聞く (4) 伐採した竹資源の高付加価値商品の創造と活用について ①食用竹炭、竹チップ、竹パウダー、農業用土壌改良に向けた支援制度の構築について聞く (5) 伐採した竹の「炭」化および関連設備について ①JA等が保有する炭化設備の有無やレンタル制度について ②小型炭焼き炉や移動式炭化炉の導入可能性について (1) サバーファームの再開スケジュールについて ①「にこにこ市場」や「レストラン」の再開時期、また全体のリニューアルオープン時期について ②農産物直売所である「にこにこ市場」において、地元農家や事業者との契約方針・募集方法・販売手数料などの詳細について (2) 工事の進捗状況について（園内整備全般・指定管理者が実施している工事の状況等） ①本市が整備を行う施設（多目的スペース、休憩設備、空調・照明設備）の進捗状況について ②指定管理者が実施している整備の進捗状況について ③サバーファームの公園部分の整備について（園内の除草や環境整備の現状） ④ぶどうの育成状況・花の作付けについて、今年度の収穫見込みやリニューアルオープン時期との関係についてお示しください (3) 指定管理者との協議体制について（持続可能な運営に向けて円滑かつ方針の透明化を求める） ①定期的な会議や収支・イベント等に関する情報共有の進め方、役割分担の明確化状況などについて ②近い将来は入園料を無料化し、駐車場を更新することを推奨するが今後は協議されるのか ③市内の子どもは全員無料にし、学校などと連携して遠足や農業体験の場にすることを推奨するが市の見解を聞く

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>3. こどもの明るい未来を切り開く学校園における教育活動について</p>	<p>(1) 水泳指導民間委託モデルについて聞く ①水泳指導を民間委託することについて、いつから議論され、どのように具体化されてきたのか ②令和元年度以降の小学校プールの改修状況について ③令和6年度の3校と令和7年度の10校の決め方について ④今年度に全16校で実施できなかった経緯について問う ⑤水泳指導民間委託が実施できていない学校間で生じる不利益について本市教育委員会はどのように考えているのか ⑥次年度以降の見通しについて問う</p> <p>(2) 中学校部活動の地域展開について ①本市における中学校部活動の現在の状況について聞く（地域展開に向けた検討や、合同部活動と拠点校方式部活動等についての活動状況など） ②2年後に活動停止となる部活動について詳細を問う（その部活動名と、募集停止または柔軟な対応について） ③国が示す地域展開の推進方針に対し、本市はどのような認識を持っているのか ④部活動の地域展開を進める上で障壁となっている事柄について聞く i 指導者の確保に向けての具体的な調査や働きかけは行ってきたのか ii 活動場所の確保について現状認識と課題 iii 国や府の補助金等、財源確保に対する検討は行っているのか iv 安全管理体制について、学校管理下を離れる事へのリスクと対策について ⑤部活動指導員の配置について配置人数の推移とその活動例について聞く ⑥部活動地域展開を進める上での具体的な解決策と今後のスケジュールについて</p>
		<p>4. 富田林版こどもまんなか社会の実現に向けて</p>	<p>(1) こども誰でも通園制度について ①今年度の取組みと昨年度との違いについて聞く ②今年度5月の利用実績を問う ③障がいをお持ちの方などの対応はどうしているのか ④実際に利用された方々の声と現場で働く職員からの意見等について ⑤現在、最も大きな課題として認識している点はどこか ⑥そのことを踏まえ、国や府に求める支援や制度改善について問う</p> <p>(2) 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】 ①今後の保育所、幼稚園の園児数の推移と見通しについて、また市立保育所6園すべて認定こども園化する必要性について市の見解を聞く ②富田林市立保育所民営化基本方針との整合性について ③老朽化している市立保育所の施設整備を改善するにあたり、財政面でどの程度の費用を想定し改修充実を図るのか。また、スケジュールについて令和10年4月に間に合うのか。今後集約していくことを考えているのであれば、施設設備の改善が不要な投資になってはならないと考えるが市の見解を聞く。 ④認定こども園化した場合、3～5歳児（1号認定児【幼稚園枠】、2号認定児【保育園枠】）それぞれの入園条件等は、現在とどのように変わるのか。また、入園の申込み時期・決定方法はどうか</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>5. 本市の発展、住民サービスの向上を目指して</p>	<p>⑤1号認定児はすべて希望する認定こども園に入園できるのか。※市立認定こども園化に伴い、幼稚園在園児は地域の認定こども園に1号認定児として受入れできるのか、現在の市立幼稚園と市立保育所の地域区分についても合わせてお聞きする</p> <p>⑥市立幼稚園でなければと考えている保護者の理解を求めることについて</p> <p>(1) 二地域居住について</p> <p>①政府が進める二地域居住とはどのようなものなのか</p> <p>②国等の現在の支援状況について問う</p> <p>③先進事例や府内市町村の取組みについて問う</p> <p>④二地域居住に対する本市の見解を聞く</p> <p>(2) 南河内地域2町1村未来協議会と南河内基礎自治機能充実強化協議会について</p> <p>①南河内地域2町1村未来協議会設立の経緯と本市の関わりについて</p> <p>②本市に対して、今年度設立された南河内基礎自治機能充実強化協議会への参加打診はあったのか、また、打診があったのなら、どのような経過だったのか</p> <p>③今回、南河内基礎自治機能充実強化協議会に参加しないと判断をした理由と今後の方針について市の考えを聞く（「令和5年9月議会の答弁：今直ちに市町村合併が必要な状況にあるとは認識をしていないが、将来的な選択肢の一つとして研究することには意義がある」との整合性も含む）</p>
4	<p>大阪維新の会 代表質問 4番 寺内 裕介</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	<p>1. 大阪府ならびに近隣市町村との連携について。</p> <p>2. 本市内の府営住宅の空室及び土地活用の周知と促進について。</p> <p>3. 本市の農業振興について</p>	<p>(1) 南河内基礎自治機能充実強化協議会について。 ※大阪府や近隣2市2町1村が参画する同協議会になぜ本市は参画しなかったのか。</p> <p>(2) 金剛地区再生における大阪府や大阪狭山市等との連携について。</p> <p>①「金剛駅前まちづくりセレモニー」になぜ吉村市長は顔を出されなかったのか。</p> <p>②金剛駅周辺での社会実験等において、今後、本市は主体的に大阪府や大阪狭山市等と連携し、一体となったイベントなどの実現を目指していくべきではないか。</p> <p>(1) 府営住宅における目的外利用を活用した空室活用の案内を広報紙に掲載したり、本市内の事業者に働きかけるなど、周知活動をおこなってはどうか。</p> <p>(2) 府営富田林楠住宅は大阪府による外周道路整備事業等がおこなわれる予定である。本市は特に同事業の機会を活かし、工事の進行と並行して府営住宅の空室及び土地活用の促進に取り組むことにより、地域の更なる活性化を図ってはどうか。</p> <p>(1) 本市における農地の集積、集約化の支援について。 ※地域計画の策定により、農業の担い手不足や後継者不足により、農地を貸し出すことや、農地の集積・集約化を検討している農業者が多くいることがわかった。一定の地域で貸し出す農地をまとめることができれば、農業法人への貸し出しや大阪府のマッチング支援の活用等にもつながる可能性が高まると考える。本市の農地の集積・集約化は、農業振興につながる取り組みであるため、本市は積極的にマッチングにつながる支援に取り組むべきだと考えるが、見解を聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(2) 行政主導でのスマート農業の推進について。 ※埼玉県深谷市の事例等について言及する。 ※深谷市は行政主導でアグリテック集積戦略を策定し、地元農業者の課題解決とアグリテック企業の誘致および集積を図っている。本市も農業振興の一助として、深谷市の取り組みを参考に行政主導でのスマート農業の推進を図ってはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(3) 富田林市農業公園の再活性化について。 ①令和6年6月の予算決算常任委員会において、指定管理期間を10年とすることを提案した。10年の指定管理期間を提案した意図は、10年かけてゆっくりと農業公園の管理・運営をすることではなく、民間の初期投資を促し、投資の回収期間を長くすることによって、民間が収益を上げやすくし、さらなる投資を生み出すことによって活性化を図ることであるが、サバーファーム共同企業体による開園に向けての初期投資の状況、施設・樹木等の整備状況、再開園に向けてのスケジュール等の詳細を聞く。 ②サバーファーム共同企業体の事業区分けについて、大まかには、一富士ケータリング株式会社は公園外からもアクセスできるレストランの運営や物販等であり、農事組合法人は園内の果樹管理や収穫体験事業と聞き及んでいる。仮に富田林市農業公園の設置及び管理に関する条例で設定されている入園料と農業収穫体験等に係る利用料金の上限額の合計金額での家族での来訪を考えると、割高感があり、にこにこ市場やレストランには来訪したとしても、公園内には入園しない層が多くなる懸念があるが、本市および指定管理者は、いかにして入園につながる取り組みをおこなうのか、見解を聞く。 ③富田林市農業公園は、いかに、わざわざ行く価値を生み出せるかが重要であり、提供するサービスをかなり磨き上げる必要があると考える。農業収穫体験に重きをおきつつも、固執しすぎることなく、開園後の運営状況を見ながら、例えば、人気のポーネルンドの大型遊具や水遊びができる広場の設置、スマート農業が学べる場の提供など、新たな可能性についても模索したり、来訪者アンケートで意見を集めて新たなサービスを検討するなど、当初に思い描いていた公園像とは異なる需要を見出したときには、本市と指定管理者は柔軟に協議し、善処していくべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p>
		<p>4. 子どもたちの国際性を育む教育ならびに実践的な英語の語学力育成について。</p>	<p>(1) 子どもたちの国際性を育む教育について。 ※本市は、万博子ども招待事業を通じ、小中学生は学校単位で、大阪・関西万博を訪れているが、子どもたちの海外パビリオンへの入館状況や万博を活用した教育、今後の学習予定等について聞く。</p> <p>(2) 子どもたちが実践的に英語を使用する機会を確保することについて。 ①同規模の近隣市では、ALT(外国語指導助手)やそれに準ずる者はどれくらいの人数を確保しているのか。 ②本市は同規模の近隣市とのALT(外国語指導助手)やそれに準ずる者の人数の差についてはどのように認識しているのか。 ③ALT(外国語指導助手)やそれに準ずる者の確保数について、同規模の近隣市との差を縮めていくべきではないか。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		5. 本市の図書館・公民館について。	<p>(1) 図書館・公民館の取り組みについて。 ※本市は図書館・公民館を直営で運営している。直営ならではの取り組みを強化していくべきではないかと考えるが、直近1年間での新たな取り組みや今後の予定等について聞く。</p> <p>(2) 電子図書館の導入について。 ※電子図書館を導入してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(3) 図書館・公民館の老朽化について。 ①長寿命化の方向性を打ち出しているが、今後、どれくらいの期間、現状のまま利用することができる見通しか。長寿命化・改修・移転・建替えなどについての本市の見解を聞く。 ②将来の建替えや移転等の議論の際は、図書館・公民館の集客力を活用した公共施設の複合化も検討すべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p>
		6. ふるさと納税制度のさらなる活用について。	<p>(1) 現状の体制と課題認識等について。 ※茨城県境町の事例について言及する。 ※ふるさと納税業務を中間業者に委託している部分について、本市の主体的な関与の程度と、今後の制度運用の方針について聞く。</p> <p>(2) 返礼品の選定基準と戦略の方針等について。 ※返礼品の選定にあたり、今後はより戦略的な基準や方針の導入が必要と考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 市内イベント等を活用した返礼品の試験販売等について。 ※市内イベント等を活用して返礼品候補を試験的に販売する仕組みを導入してはどうかと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(4) 地域商社型の公社（外郭的専門組織）の設立について。 ※ふるさと納税制度を軸に、観光・産業・教育などと連携しながら地域戦略を支える外郭的な専門組織（地域商社型公社）を設立してはどうかと考えるが、市の見解を聞く。</p>
		7. 地籍調査事業に取り組んではどうか。	<p>(1) 地籍調査事業に早期に取り組む必要性について。 ①土地境界の調査に必要な「人証」や「物証」が失われ、時間が経過すればするほど調査が困難になることについて、市はどのように認識しているのか。 ②大規模災害の際に迅速な復旧復興につなげるため、境界の明確化を急ぐ必要があるのではないかと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 地籍調査事業の必要性（見込まれる効果）について、市はどのように認識しているのか。 ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②登記手続の簡素化・費用縮減 ③土地の有効活用の促進 ④建築物の敷地に係る規制の適用の明確化 ⑤各種公共事業の効率化・コスト削減 ⑥公共物管理の適正化 ⑦災害復旧の迅速化 ⑧課税の適正化・公平化 ⑨GISによる多方面での利活用</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(3) 市はなぜ地籍調査事業に取り組まないのか。（後回しにするのか）</p> <p>①費用面の課題について。 ※市区町村が調査を実施する場合、調査にかかる費用には、事業費の1／2を国が負担し、大阪府が1／4、本市が1／4。但し、市負担分の80％は特別交付税で措置されるため、実質負担は事業費の5％。 ※事業の必要性（見込まれる効果）を考えると、優先順位はそれなりに高く、取り組むべきではないか。</p> <p>②職員の配置が難しい（人手不足）の課題について。 ※暫定再任用等による職員の確保や、業務委託の活用等で解決できないか。</p> <p>(4) 地籍調査事業に取り組むことを提案するが、市の見解を求める。</p>
		8. 学校教育施設の統廃合について。	<p>(1) 学校教育施設の今後更新にかかる費用推計について。</p> <p>①学校教育施設の年間整備費用の推移（過去3年）について。 ②改修工事についてはどのような施工をしているのか。また、先の将来を見据えた改修を予定しているのか。 ③今後、学校教育施設を更新していくには多額の費用が必要だと思うが、どのようなシミュレーションをしているのか。</p> <p>(2) 学校教育施設の統廃合に向けた機運醸成の取り組みについて。</p> <p>①まずは各学校ごとの今後40年間程度の児童・生徒数、学級数等の将来推計と、学校教育施設の更新費用の試算結果を、市民に分かりやすく公表し、現在及び将来の市民が置かれている状況を認識してもらい努力をすべきではないか。</p> <p>(3) 公共施設再配置計画（後期）策定に向けての取り組み、並びに富田林市学校教育施設長寿命化計画（第1期）の中間見直しについて。</p> <p>①公共施設再配置計画（前期）において、小学校・中学校の建物方針の中に「後期計画策定に向け、各学区の児童数の推移を見極めながら小学校間及び小・中学校間の機能統合についても検討を始めます」との記載があるが、その検討状況について。 ②同計画において、小学校の建物方針の中に「借地料が発生している小学校については、その解消に向けた取り組みが必要です」との記載があるが、その検討状況について。 ③同計画において、市立幼稚園の建物方針の中に「現在休園中である板持幼稚園及び東条幼稚園については、廃止し除却します。」との記載があるが、その検討状況について。</p> <p>④庁内横断的な検討体制を令和7年度中に設置し、学校教育施設以外の公共施設の在り方も含めた全体的なランドデザインの検討に着手するとともに、検討結果等をもとに富田林市学校教育施設長寿命化計画（第1期）の中間見直しをすべきだと考えるが、見解を求める。 ※公共施設再配置計画（前期）は令和10年度までを対象としているところ、公共施設再配置計画（後期）の策定に間に合わせることを考えると、今から検討を始めても遅いくらいではないか。 ※どのようなスケジュール感で検討を進めるつもりなのか、にも言及されたい。</p> <p>⑤検討過程を市民に公表し、説明責任を果たすことによって、市民の理解、合意形成に向けた努力を早い段階から行うべきだと考えるが、見解を求める。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
5	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 市立幼稚園・保育所の今後の方針について	(1) 認定こども園整備方針と保育所再編方針の中長期的な見通しと市の方向性について (2) 認定こども園整備に伴うスケジュールと財政面での計画について (3) 出生数の推移と保育需要見込み、今後のビジョンについて (4) 保育・教育内容と職員体制の準備状況と今後のスケジュールについて
		2. 町会・自治会におけるDX化と通知業務等の情報インフラの整備について	(1) 町会・自治会や各種委員等への通知業務の現状と課題認識について (2) 通知業務のDX化による業務改善と、今後の全体方針における位置づけについて (3) 町会・自治会の若者離れの課題認識とデジタル化の推進について (4) モデル地区での試行と全庁的な展開、ツール導入や支援策について (5) 市民の視点に立った、アプリなどの情報発信手段の一本化・統合について
		3. 集中豪雨等による通学路の溢水・冠水対策について	(1) 現状把握と被害状況について（直近3年間における市内での溢水・冠水状況も含めて） (2) 溢水・冠水被害が報告された通学路の整備の方針とスケジュールについて (3) 災害リスクのリアルタイム把握と今後の対応方針について (4) 児童の安全確保と情報連携体制の強化について
6	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 本市における都市計画道路について	(1) 本市の都市計画道路の現状と未着手区間の決定時期、今後の整備見通しについて聞く（過去の廃止理由と存続理由について言及） (2) 都市計画道路決定による市民への影響について (3) 近年の社会経済状況等の変化を踏まえ早期に見直すべき ①防災・減災の観点から整備すべき都市計画道路に道路資源を集中すべき
		2. 指定管理者制度のあり方について	(1) 本市の指定管理者制度の導入状況とその目的、効果について (2) 指定管理者の運営実績について、市はどのように評価を行っているのか ①基準を満たさない評価や運営上の課題にどう対処しているのか (3) 指定管理者選定における現在の評価方法の利点や課題への認識について (4) 現行の評価方法の課題についてどう改善していくのか ①市が利用者や利用団体の声を直接聞くようなアンケートの実施と選定審査基準に入れて採点すべきと考えるが
		3. 農業公園サバーファームの開園について	(1) 開園に向けてのスケジュール内容とこれまでの施設改修を含む準備状況について聞く (2) 開園後に「本市農業公園の活性化に向けた新たな方向性」について、具体的にどのように取り組むのか ①農業体験・レストランや売店の運営、各種集客イベント、農産物直売所「にここ市場」について言及 ②地元雇用や新たな雇用創出、地元農家をはじめ市内農業者の所得向上、地産地消につながる取り組みを ③市民割引きの導入をはじめ、市内最大の集客拠点を目ざす上でリピーター客を増やす取り組みを（道の駅について言及）

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
7	17番 今城 克久 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市における米の生産状況と地域での活用・備蓄体制について 2. サバーファームの再開を契機とした六次産業化・販売力強化の推進について	(1) 本市の米の作付け面積と生産者の推移について ①直近5年の作付け面積の推移について ②米生産に従事する農業者の数や傾向の変化について (2) 本市の米の生産量について ①直近5年の本市における米の生産量(収穫量)について (3) 市内で生産された米の活用状況について ①市内で生産された米のうち、学校給食にどの程度使用されているのか (4) 備蓄体制と冷蔵庫保存施設について ①地域で収穫された米の備蓄体制や保管場所・保管方法について ②保管施設の能力(保管トン数等)について ③災害時等における本市の米の備蓄体制について (1) 本市における六次産業化の基本方針と、これまでに実施された主な取組や成果について ①地元事業者や農家等に対して実施されている「商品開発支援事業補助金」の実績について ②ブランド化や販路拡大につながった具体事例について (2) サバーファームを拠点として、国の「農山漁村イノベーション対策費等」の活用について ①マーケット調査や健康志向の高まりで近年注目されているオーガニック食品や発酵食品等の加工品の商品開発について ②体験型観光イベント等の販売促進活動を展開する考えについて ③加工品の開発を推進するため、専門家による商品開発ワークショップや、イベントの開催などを通じて、サバーファームが発信拠点となることが重要と考える。市の認識と可能性についてお聞かせください。
8	3番 岩崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 学校給食における地元産・規格外野菜の導入促進について。	(1) 規格外野菜の導入促進について。 ①生産者から出荷される規格外野菜の給食利用の可能性について、調査研究、検討されたのか、市の見解を聞く。 ②他市は、生産者と学校給食が直接連携する仕組みを作り、規格外野菜も導入している。 市でも同様に検討すべきと考えますが、市の見解を聞く。 ※弘前市、今治市、箕面市の取組みについて言及する。
9	13番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 国民健康保険の府内統一料金について	(1) 大阪府への納付額算定時の被保険者数の見込みと実際の被保険者数の誤差は起きると思うが、市の見解を聞く。 (2) 納付額は、国保加入者数が確定したのちに決定されるべきだと思うが、市の見解を聞く。 (3) 大阪府への納付額について、加入者数が予想外の減少となることが防げない限り、基金の枯渇を防ぐためや、基金に積み立てる為に、保険料の値上げが起きるのではないかと懸念している。今後の見通しや対策を聞く。また、基金の枯渇や加入者数が見込みより多くなった場合はどのような対応をするのか。

一般質問一覧表

		発言の主題	発言の要旨
		<p>2. 子どもたちを取り巻く教育環境の充実について</p>	<p>(1) 万博遠足について</p> <p>①府内で万博遠足中止を決定した小中学校数の増加と見送った理由について、市の見解を聞く、保護者の方や教員の方から心配する声などが届いているのか、併せて聞く。</p> <p>②万博遠足実施済みの市内の小中学校について、事前にパビリオンが予約出来ていたのか、当日見学したパビリオンには下見が行えていたのか。欠席を希望した児童生徒への対応と保護者からの出席扱いの要望、復習予習授業の有無や持ち方についても併せて聞く。</p> <p>(2) 小中一貫教育校について</p> <p>①課題があるところに、小中一貫教育校の実施で課題解消を図るとあるが、その課題とは何か聞く。また、課題解消にはさまざまな手立てがあるが、小中一貫教育校で課題解消することにどのような理由があるか、併せて聞く。</p> <p>②中学校教員が小学校児童のテストを作成するとあったが、実施内容を教えてください。この取り組みの目的も併せて聞く。</p> <p>(3) 少人数学級の整備が重要。今年度の教職員の欠員状況、講師の配置人数、支援学級児童生徒を通常の学級の人数にカウントしない理由と、ダブルカウントした場合、定員を超えるクラスが小中学校で何クラスあるのかを問う。また、支援学級の子どもが通常の学級で学習する時の付き添いはどうなっているのか。そしてダブルカウントや付き添いに対する市の見解を問う。</p> <p>(4) 学校トイレへの生理用品の設置状況と予算について</p>
		<p>3. 「つながりフードサポートセンター」と子ども食堂について</p>	<p>①地域フードバンク「つながりフードサポートセンター」についての市の認識と周知方法、役割を聞く。</p> <p>②SDGsを推進する上で子ども食堂と連携できた事例があるのか聞く。</p> <p>③地場産農作物が「つなサポ」に集まる仕組みづくりについて聞く。</p>
		<p>4. 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】（骨子案）について</p>	<p>①認定こども園の種類とその根拠について聞く。</p> <p>②富田林市立保育所民営化基本計画について、HPを検索しても計画が表示されないことについての理由。今回示された認定こども園計画では6園すべてを認定こども園化するという事は、4園にするという民営化計画は進めないという事で良いか聞く。</p> <p>③市立幼稚園の幼児保育を希望する方が安心して通えるという事なのか聞く。また、市域全体の施設配置がどのように変わるのか、現在と計画後とが分かる資料を説明会までに作成し配布することについて併せて聞く。</p> <p>④令和10年度に募集停止が見込まれる市立幼稚園とはどこか聞く。また、保育の需要見込みの減少について聞く。</p> <p>⑤より良い幼児教育保育の構築について、どう連携し、どこに課題があり、どう進めるのか聞く。また、単体の市立幼稚園・保育所を残さないのはなぜか聞く。</p> <p>⑥保育所の児童福祉施設としてのセーフティネットの役割の引継ぎについて聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
10	2番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 本市のごみ収集事業について。 2. 保育士等確保策について。	<p>(1) 本市が作成している「ごみの分け方・出し方」の冊子について。 ※現在の冊子は情報が多く詰め込まれており、内容が把握しにくいとの声を聞く。全体的にもっと読みやすく・見やすいものに改善してはどうか。</p> <p>(2) ゴミかれんだーについて。 ※ゴミかれんだーは令和6年度をもって終了となったが、代替となるような分かりやすいツール等を復活・再導入できないか。 ※ゴミかれんだー終了の経緯や理由についても言及する。</p> <p>(3) プラスチック製容器包装の収集日について。 ※プラスチック製容器包装の収集日を増やしてほしいという市民の声に対する市の見解を聞く。</p> <hr/> <p>(1) 大阪府による保育士確保のための取り組み等について。 ※大阪府による保育士確保のための貸付事業の周知を本市でも行ってはどうか。 ※現在、大阪府のウェブサイトには、市町村ごとの保育士等支援施策が一覧でまとめられているが、本市の情報は記載されていない。 なぜ記載がないのか理由を聞くとともに、本市の施策があるのであれば、積極的に情報発信を行い、大阪府のウェブサイトにも掲載してはどうか。</p> <p>(2) 本市の保育士等支援施策について。 ※他市の事例を参考に、本市でも新たな保育士等支援施策を導入してはどうか。 ※潜在保育士の掘り起こしや中途採用を促進するような制度設計や情報発信の必要性について市の見解を聞く。</p>
11	1番 伊東 寛光 (質問方式) 一問一答	1. 市立幼稚園の現状と今後の見込み、休園中の施設の廃止、除却について。 2. 市立保育所の現状と今後の見込み、市立保育所の統廃合について。	<p>(1) 令和7年度施政方針では、市立幼稚園の今後の方向性について、「複数の市立幼稚園が休園となることも想定される」としていたが、わずか2ヶ月ほどで「今後、多くの園において令和10年度の新入園児募集停止が見込まれます」と、見方が変わったのは何故か。 ※令和7年度の3歳新入園児は令和7年5月1日現在、10園合計で66人、また、10人以上の園は2園と、基礎となる数字に大きな変化は無いはずだが、当初の見通しが甘かったという理解で良いのか、見解を求める。</p> <p>(2) 公共施設再配置計画（前期）には、市立幼稚園の建物方針の中に「現在休園中である板持幼稚園及び東条幼稚園については、廃止し除却します。」との記載があるが、その検討状況を示されたい。また、検討していないのであれば、その理由と、いつまでに検討して答えを出し、廃止、除却を実施するつもりなのかを示されたい。</p> <hr/> <p>(1) 市立保育所の入園申し込みは、令和7年4月入園分で前年度比約100人の減少と、本市の保育ニーズはピークアウトを迎えているように見えるが、市の見解を求める。</p> <p>(2) 令和8年4月に私学幼稚園1園が認定こども園化することにより、保育部分で120人の受け入れ枠が新たに確保される予定である。保育ニーズの減少傾向と民間の受け入れ枠の増加により、このままでは供給過剰となる可能性があると考えるが、見解を求める。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(3) 老朽化が進んでいる保育所や、小規模な保育所などを中心に、保育の受け入れ枠を段階的に縮小させ、市立保育所を4園に統廃合してはどうか。今後見込まれる保育の需給バランスを好機と捉え、まずは市立保育所を4園に統廃合することが、富田林市立保育所民営化基本方針の主旨にも、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」にも適うと考えるが、見解を求める。</p>
		<p>3. 市立保育所の認定こども園化が、本市の財政に与える影響について。</p>	<p>(1) 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】（骨子案）では、「市立保育所6園を令和10年4月からすべて認定こども園化」、「新しい環境でよりよい幼児教育保育を提供するため、既存の施設設備を改善し充実を図ります」との記載があるが、①どのような施設設備の改善を想定しているのか。また、②どのくらいの費用を見込んでいるのか、超概算で構わないので示されたい。</p> <p>(2) 「市立保育所6園の認定こども園化」の財源確保はどのように行うのか。また、将来に渡って本市の財政に与える影響はどのようなものなのか、示されたい。</p> <p>(3) かなり老朽化が進んでいる保育所もあるが、ゆくゆくは統廃合を検討しなければならない中で、今、税金を使って全ての市立保育所の施設改修等を行うことは、現在および将来の市民にとってどの程度有益だと考えているのか。見込んでいる1号認定のこどもの数と費用（超概算）から、受益者1人当たりの費用に言及しつつ、見解を示されたい。</p>
		<p>4. 行政需要の把握による投資的経費の適正化について。</p>	<p>(1) 厳しい財政状況の中、効率的かつ効果的な予算配分を行うためにも、将来に渡って影響が残る投資的経費は、行政需要の把握に努めるとともに、将来の需要予測もしっかりと行った上で、適正化に努めるべきだと考えるが、見解を求める。</p> <p>※行政需要の把握や将来の需要予測等を怠り、結果として投資的経費が過剰に支出された場合、「不当な支出」として住民監査請求や住民訴訟の対象となるリスクがあることについても言及する。</p> <p>(2) 市立保育所を認定こども園化した場合、従来の市立幼稚園と比べて通学距離が延びるなど利便性が下がることにより、公立にこだわらない選択をする児童・保護者が出てくる可能性について、どのように見込んでいるのか。</p> <p>(3) 市立認定こども園の需要を把握するためのアンケートを行うなど、過剰投資を避けるための努力をすべきではないか。</p> <p>①今の0歳児の保護者を対象に、市立保育所が認定こども園化した場合の現時点での通園の意向やその可能性等について、悉皆でアンケートを行ってはどうか。</p> <p>②参考資料とするため、今、市立幼稚園に通っている児童の保護者を対象に、「市立保育所が認定こども園化していた」と仮定して、今、通っている市立幼稚園ではなく、「認定こども園を選んででも、公立を選んだかどうか」等、アンケートを行ってはどうか。</p> <p>③アンケートに掛かる費用は、施設改修等に掛かる費用と比べれば少額で済むはずである。もしアンケートを行わないのであれば、その理由を示されたい。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		<p>5. 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】（骨子案）について。</p>	<p>(1) 「市立保育所6園を令和10年4月からすべて認定こども園化する」としているのは何故か。もしその理由が、「時間的余裕が無い中、受け皿確保を優先させるため」なのであれば、①「時間的余裕が無い状態」が発生したのは何故か、②その責任の所在はどこにあるのか、③どのように責任を取るのか、をそれぞれ明確に示されたい。</p> <p>(2) 「子どもたちがともに学びあう場として必要な集団（1クラス20人）を形成します」とあるが、1クラス20人を確保できない保育所も認定こども園化するというのは、そもそも骨子案の趣旨と矛盾しているのではないか。</p> <p>(3) 現時点では、令和10年度に募集停止にならない可能性がある市立幼稚園もあるものの、全ての市立幼稚園が募集停止になることも想定すること自体は否定しない。一方で、私学幼稚園等を選択する子どもたちと保護者が出てくることが見込まれる中、全ての市立保育所を認定こども園化してまで、1号認定こどもの受け入れ枠を確保する必要があるのか、甚だ疑問である。「全ての市立保育所を認定こども園化」することにこだわる理由を示されたい。</p> <p>(4) 合理的な根拠を持って政治判断をすれば、市立認定こども園を4園以内に集約できる可能性があると考えられ、その可否の判断をするための材料を集めるべきだと考えるが、見解を求める。また、そのような判断に向けた行動をしない、「材料を集める必要は無い」と考えるのであれば、理由を示されたい。</p> <p>(5) 順次募集停止後の市立幼稚園の施設は、どのような活用を考えているのか。廃止、除却まで行かないと延べ床面積は減らないし、施設の維持にお金が掛かるため、原則として廃止、除却とする方針を明確にすべきだと考えるが、見解を求める。</p>
		<p>6. 仮称「富田林市教育・保育施設中長期ビジョン」を策定してはどうか。</p>	<p>(1) 市立幼稚園・保育所に関する課題への対応が、場当たりの、その場のぎになっている現状を、市はどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 仮称「富田林市教育・保育施設中長期ビジョン」を策定し、将来の方向性を職員および市民と共有することで、計画性を持って施設の統廃合等を進めるべきだと考えるが、見解を求める。</p>